

工事成績採点の考査項目別運用表(建築等)

【記入方法】 該当する項目の・マークをドロップダウンから、評価すべき項目なら■を選択し、評価すべき項目でない場合又は評価対象外なら・のままとする。

(担当係長等)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e				
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている				
		<ul style="list-style-type: none"> 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工期内に工事を完成させた。 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルがなく工事を完成させた。 地元及び関係機関との調整を積極的に行い、トラブルもなく、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の取り組みが見られた。 施工計画書に定めた休日予定のとおりの休日の確保を行うことなど、他の規範となるような取組を実施した。 その他() <p>詳細評価内容:</p> <p>評価項目の該当 3項目以上…………… a</p> <p>評価項目の該当 2項目 …………… b</p> <p>評価項目の該当 1項目以下…………… c</p>			<ul style="list-style-type: none"> 工程管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 受注者の責によるトラブルが発生した。 <p>上記該当であれば …………… d</p>		<ul style="list-style-type: none"> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 受注者の責による重大なトラブルが発生した。 <p>上記該当であれば …………… e</p>			
					<table border="1"> <tr> <td>評価する項目数</td><td>評 価</td></tr> <tr> <td>0</td><td>c</td></tr> </table>		評価する項目数	評 価	0	c
評価する項目数	評 価									
0	c									
2. 施工状況	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている				
		<ul style="list-style-type: none"> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著である。 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んでいた。 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に取り組んだ。 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいた。 同一場所で複数の工事がある場合、安全協議会での活動に取り組んでいた。 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 その他() <p>詳細評価内容:</p> <p>評価項目の該当 4項目以上…………… a</p> <p>評価項目の該当 3項目 …………… b</p> <p>評価項目の該当 2項目以下…………… c</p>			<ul style="list-style-type: none"> 安全対策に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 受注者の責によるトラブルが発生した。 <p>上記該当であれば …………… d</p>		<ul style="list-style-type: none"> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 受注者の責による重大なトラブルが発生した。 <p>上記該当であれば …………… e</p>			
					<table border="1"> <tr> <td>評価する項目数</td><td>評 価</td></tr> <tr> <td>0</td><td>c</td></tr> </table>		評価する項目数	評 価	0	c
評価する項目数	評 価									
0	c									

※1. 担当係長等は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。

※2. ■を付した評価対象項目のうち、特筆すべき評価内容又は効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

(担当係長等)

考 査 項 目	細 別	評価対象項目	【評価技術事例】
4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	●気象状況などへの対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象状況による制限を受けた工事 ・ 施工条件の変更に対する対応 ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○気象状況により既設プラントの運転状況の変化で、工期及び施工方法に制約を受け、標準工程で完成しないため、工程短縮の検討を行い工期内に完成した工事 ○施工現場において、工事期間中の維持管理業務に支障をきたさないよう夜間照明及び安全対策など行った工事
		●特殊な工事への対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい技術・工法で行った工事 ・ 新規導入した機器などの説明・維持管理方法について ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○特殊な工事の理解を深めるため、研修会や見学会を実施した工事 ○新規で導入した機器の操作説明会を行った工事
		●建物固有の施工技術の難しさへの対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築材料、設備機材、工法について提案がある場合【総合評価方式における技術提案は除く】 ・ 設計条件として、工法、材料及び設備システム（機材を含む）の特殊性 ・ 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で、特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ○特殊な工法及び材料等を採用した工事 ○特殊な設備システムを採用した工事 ○免震装置を設ける工事 ○大規模な山留め工法が必要な工事 ○敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設・切り回しを行う工事 ○仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
		●稼働中の浄水処理への対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工中に、急きょ施工制限を受けた工事 ・ 工事の実施にあたり、施工時間等の制約を受けた工事 ・ 雨・雪・風・気温等の影響 ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○突発的の事象により、水量管理に影響を及ぼすため、急きょ工事を中断したが工期内に完成させた工事（当日予定していた工事の突発的な中止等） ○高濁度や配水量増大などにより水量管理上やむをえず工程変更となったが、工程短縮の検討を行い工期内に完成させた工事
		●厳しい周辺環境、社会条件との対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば2点の加点とする。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 地中埋設物等の作業障害 ・ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 ・ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 ・ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ○工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ○場内に汚水処理装置（水替え）を必要とする工事 ○住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ○有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
		●施工現場での対応 （※下記の対応事項に1つ以上■が付けば4点の加点とし、最大10点とする。） 【長期工事における安全確保への対応】 ※ただし気象状況などへの対応と重複評価しないこととする <ul style="list-style-type: none"> ・ 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事（ただし全面一時中止期間は除く） 【災害等での臨機の措置】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況（条件）に対応した施工・工法等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく施工の制限を受けた工事 ・ 工程上他工事の制約を受け、機械・人員の増強を行った工事 ・ 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 ・ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 ・ 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の受注者が複数ある工事 ・ 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 ・ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 ・ 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・ 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事等で、工程の制約等が特に厳しい工事 ・ その他（理由 ） <div> <div>評点</div> <div>0 点</div> </div>	○他工事による施工条件の制約を受け、標準工程では完成できないため工程調整を行い工期内に完成させた工事 ○クレーン等の重機が使用できないため、人力と現場特殊仮設の併用により対応した工事 ○稼働中の電気室や機械室内等の工事で、施工ヤードを区切ることができず日々作業時間に制約を受けた工事
		評点計： 0 点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

※2. 監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。

※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。

※4. ■を付した評価対象項目のうち、特筆すべき評価内容又は効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

【記入方法】 該当する項目の・マークをドロップダウンから、評価すべき項目なら■を選択し、評価すべき項目でない場合又は評価対象外なら・のままとする。 (担当係長等)

考 査 項 目	細 別	a	a'	b	b'	c				
		<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<div><div><div><div><div>・ 1. 災害時等において地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</div><div>・ 2. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</div><div>・ 3. 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</div><div>・ 4. 定期的に応報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</div><div>・ 5. 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</div><div>・ 6. 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</div><div>・ 7. その他 ()</div></div></div><div>詳細評価内容:</div><div><div>評価項目の該当 4項目以上..... a</div><div>評価項目の該当 3項目 a'</div><div>評価項目の該当 2項目 b</div><div>評価項目の該当 1項目 b'</div><div>評価項目の該当 0項目 c</div></div><div><table><tr><td>評価する項目数</td><td>評 価</td></tr><tr><td>0</td><td>c</td></tr></table></div></div></div>					評価する項目数	評 価	0	c
評価する項目数	評 価									
0	c									

※1. 担当係長等は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。

※2. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加點評価する。

※3. 詳細評価は、受注者から提出された実施状況に関する書類を活用するとともに、「監督員」と「担当係長等」との合議をもって行う。

※4. ■を付した評価対象項目のうち、特筆すべき評価内容又は効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

